

安全データシート(SDS)

作成日 1995年5月17日

改定13 2025年10月1日

1 製品及び会社情報

製品名	ロードマーキング用プライマー 液状タイプ(1L)/(4L)
会社名	新富士バーナー株式会社
・住所	愛知県豊川市御津町御幸浜一号地1番地3
・担当部門	新富士バーナー株式会社
・電話番号	0533-75-5000
・緊急連絡先	上記
・FAX番号	0533-75-5033
推奨用途	ロードマーキング施工時の路面下地処理
使用上の制限	推奨用途以外の用途へ使用する場合は、専門家の判断を仰ぐこと。
製品品番	RM-500, RM-503

2 危険有害性の要約

GHS分類

物理的及び化学的危険性	引火性液体	区分2
人の健康に対する有害な影響	急性毒性(吸入・蒸気)	区分4
	皮膚腐食性/刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2B
	呼吸器感作性	区分1
	皮膚感作性	区分1
	生殖毒性	区分1A+授乳影響
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分1(中枢神経系) 区分2(呼吸器) 区分3(麻酔作用)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1(中枢神経系、腎臓) 区分2(神経系)	
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期(急性)	区分2
	水生環境有害性 長期(慢性)	区分3

上記に書かれていない危険有害性情報の項目は、「分類できない」「区分に該当しない」に分類される。

絵表示(ピクトグラム)				
-------------	---	--	---	--

注意喚起語	危険
-------	----

危険有害性情報	<ul style="list-style-type: none"> ・引火性の高い液体及び蒸気・吸入すると有害・皮膚刺激・眼刺激 ・吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ ・アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ ・生殖能又は胎児への悪影響のおそれ ・授乳中の子に害を及ぼすおそれ・臓器(中枢神経系)の障害 ・臓器(呼吸器)の障害のおそれ・眠気又はめまいのおそれ ・長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(中枢神経系、腎臓)の障害 ・長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(神経系)の障害のおそれ ・水生生物に毒性・長期継続的影響によって水生生物に有害
注意書き	<p>吸入すると中毒その他健康障害を起こす恐れがありますから、取扱には下記の注意を守って下さい。</p> <p>【安全対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わない事。 ・熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざける事。ー禁煙。 ・防爆型の電気機器／局所排気装置を使用し、粉じん／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避ける事。 ・保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用する事。 ・容器は丁寧に扱い、内容物をこぼさない事。 ・取扱い後は、手をよく洗う事。口をすすぐ事。 ・環境への放出を避ける事。 <p>【応急措置】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災の場合：消火する為に、炭酸ガス、泡又は粉末消火器を使用する事。 ・物的被害を防止するためにも流出したものを吸収する事。 ・漏出物を回収する事。 ・皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗う事。 ・皮膚刺激が生じた場合：医師の診断を受ける事。 ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗う事。 ・直ちに医師の診断を受ける事。 ・吸入した場合：気分が悪い時は、医師の診断を受ける事。 ・飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡する事。 ・汚染された衣類を直ちに脱ぎ、再使用する場合には洗濯をする事。 <p>【保管】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・容器を密閉しておく事。 ・日光から遮断する事。 ・換気の良い場所で保管する事。(5～35℃) ・子供の手の届かないところに置く事。 <p>【廃棄】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・容器は、中身をすべて使い切ってから廃棄する事。 ・内容物／容器を、許可を受けた専門業者に委託し廃棄する事。 <p>* 接着用途以外には絶対に使用しない事。</p>

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分	混合物質
化学名又は一般名	合成ゴム系接着剤

成分名	含有量(%)	CAS番号	官報公示整理番号(化審法・安衛法)
クロロプレンゴム等	約19%	—	—
(ロジン)	(1%未満)	8050-09-7	—
(酸化亜鉛)	(1%未満)	1314-13-2	—
トルエン	76～82%	108-88-3	(3)-2 (3)-60
キシレン	1%未満	1330-20-7	(3)-3, (3)-60
エチルベンゼン	1%未満	100-41-4	(3)-28, (3)-60
鉱油	1～2%	—	—

4 応急処置

吸入した場合	空気の新鮮な場所へ移動して寝かせる。 頭痛等の異常がある場合、速やかに医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	すぐに拭き取り、石鹼水及び水で洗い流す。炎症等が出た場合、速やかに医師の診断を受ける。
眼に入った場合	流水にて最低15分間洗眼した後、異常のある場合は直ちに眼科医の診断を受ける。
飲み込んだ場合	多量の水を飲ませ吐き出させ、直ちに医師の診断を受ける。他人が無理に吐かせてはいけない。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	めまい、頭痛、吐き気、嗜眠
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	適切な保護具を着用すること。
医師に対する特別な注意事項	知見なし

5 火災時の措置

適切な消火剤	小火災－粉末、二酸化炭素、泡、乾燥砂 大火災－散水、噴霧水、一般の泡消火剤
使ってはならない消火剤	棒状注水
火災時の特有の危険有害性	火災によって刺激性、毒性のガスを発生するおそれがある。引火性の高い液体及び蒸気
特有の消火方法	付近の着火源を断つ。危険でなければ火災区域から容器を移動する。消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。
消火を行なう者の特別な保護具及び予防措置	消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。風上から消火する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業者は適切な保護具(8.1ばく露防止及び保護処置の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外を立ち入り禁止にする。 漏洩しても火災が発生していない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用する。 風上に留まる。低地から離れる。密閉された場所に入る前に換気する。
環境に対する注意事項	排水溝、下水溝、、地下室あるいは閉鎖場所への流入を避ける。 河川等に排出され、環境に影響を起ささないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	危険でなければ漏れをとめる。 漏出物を取り扱う時、用いる全ての設備は接地する。 少量の場合、吸収したものを集める時、清潔な帯電防止工具を用いる。 大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。 散水は、蒸気濃度を低下させる。しかし、密閉された場所では燃焼を抑える事ができない恐れがある。
二次災害の防止策	全ての着火源を速やかに取り除く(近傍での喫煙、火花や火炎の関係箇所) に通報し、応援を求める。禁止) 蒸気発生が多い場合は、噴霧注水により蒸気発生を抑制する。 関係箇所に通報し、応援を求める。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
・技術的対策	<p>防爆の電気、換気、照明器具及び防爆用工具のみを使用し、静電気放電に対する予防措置を講ずること。</p> <p>周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。ー禁煙。</p> <p>「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。</p> <p>静電気対策のために、装置、機器などの接地を確実にを行う。</p>
・局所排気、全体換気	<p>「8. ばく露防止及び保護処置」に記載の局所排気、全体換気を行う。</p> <p>液の漏洩や蒸気の発散を極力防止する。</p>
・安全取扱い注意事項	<p>眼への刺激性があるので眼に触れないようにする。</p> <p>眠気又はめまい、呼吸器の刺激、器官の損傷のおそれがあるので、本製品に接触、吸入、飲み込みをしてはならない。</p> <p>容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。</p> <p>取扱い後はよく手を洗うこと。</p> <p>屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。</p>
・接触回避	<p>「10. 安定性及び反応性」を参照。</p> <p>高温物、スパーク、火気を避け、酸化性物質、有機過酸化物との接触を避ける。</p>
保管	
・保管条件	<p>安全な保管条件：</p> <p>熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。ー禁煙。</p> <p>容器を密閉して、冷暗所、換気の良い所で貯蔵すること。</p> <p>酸化剤から離して保管する。</p> <p>容器は直射日光や火気を避けること。</p> <p>保管場所は、耐火構造、床は不浸透性のものとし、地下への浸透、外部への流出を防止する。</p> <p>指定数量以上の危険物は、貯蔵所以外の場所でこれを貯蔵してはならない。</p> <p>施錠して貯蔵すること。</p> <p>混触危険物質：</p> <p>「10. 安定性及び反応性」を参照。</p> <p>安全な容器包装材料：</p> <p>消防法で規定されている容器を使用する。</p> <p>鋼、ステンレス鋼等は容器として耐久性がある。</p>

8 ばく露防止及び保護措置

許容濃度

成分名	管理濃度	日本産業衛生学会	ACGIH TWA
トルエン	20ppm	皮50ppm、 皮188mg/m ³	20ppm
キシレン	50ppm	50ppm	100ppm
エチルベンゼン	20ppm	20ppm	20ppm

設備対策	<p>局所排気装置等の排気のための装置を設置する。 防爆の電気、換気、照明機器を使用すること。 静電気放電に対する予防措置を講ずること。 貯蔵ないし取り扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。 「火気厳禁」、「関係者以外立ち入り禁止」等の必要な標識を見やすい箇所に掲示すること。 安全管理のため状況に応じて、ガス検知器等を設置する。</p>
保護具	
・呼吸用保護具	呼吸保護具(有機ガス用防毒マスク、送気マスク空気呼吸器等)
・手の保護具	保護手袋(不浸透性・耐油性ゴム手袋等)
・眼、顔面の保護具	保護眼鏡(側板付き普通眼鏡又はゴーグル型)
・皮膚及び身体の保護具	保護衣・履物(不浸透性、静電気防止対策用等)
特別な注意事項	特になし

9 物理的及び化学的性質

物理的状態	
・形状	液状
・色	黄褐色
・臭い	有機溶剤臭
・pH	測定できない
物理学的状態が変化する特定の温度/温度範囲	
・融点、凝固点	データなし
・沸点、初留点及び沸騰範囲	110℃
・引火点	4℃
・爆発下限及び爆発上限界/可燃限界	1.2%～7.1%
・蒸気圧	知見なし
・相対ガス密度	空気より大
・密度及び/又は相対密度	約0.91
・溶解度	水に不溶
・n-オクタノール/水分配係数	データなし
・自然発火点	480℃
・分解温度	データなし
・粒子特性	該当せず(液体)
・動粘性率	データなし
・可燃性	点火性あり
・その他のデータ	特になし

10 安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	常温で暗所に貯蔵・保管された場合、安定である。
危険有害反応可能性	強酸化剤、強塩基、強酸と接触すると反応することがある。
避けるべき条件	直射日光、炎、火花、高温体との接触を避ける。
混触危険物質	強酸化剤、強塩基、強酸
危険有害な分解生成物	燃焼により煙、ガス(一酸化炭素、二酸化炭素、塩化水素)が生成される。

11 有害性情報

急性毒性(経口)	トルエン：ラットLD50=5000mg/kg 区分に該当しない キシレン：ラットLD50=3500-8800mg/kg 区分に該当しない エチルベンゼン：ラットLD50=3500mg 区分に該当しない ロジン：ラットLD50=2800mg/kg 区分に該当しない 酸化亜鉛：ラットLD50>5000mg/kg 区分に該当しない
急性毒性(経皮)	トルエン：ラットLD50=12000mg/kg 区分に該当しない キシレン：ラットLD50=1700mg/kg 区分4 エチルベンゼン：ウサギLD50=15400mg 区分に該当しない ロジン：ラットLD50>2000mg/kg 区分に該当しない 酸化亜鉛：ウサギLD50>5000mg/kg 区分に該当しない
急性毒性(吸入：気体)	区分に該当しない
急性毒性(吸入：蒸気)	トルエン：ラットLC50(4時間)>3319ppm 区分4 キシレン：ラットLC50(4時間)=6350-6700ppm 区分4 エチルベンゼン：ラットLC50(4時間)=4000ppm 区分4 ロジン：分類できない 酸化亜鉛：区分に該当しない
急性毒性(吸入：粉じん及びミスト)	トルエン：分類できない キシレン：分類できない エチルベンゼン：ラットLC50(2時間)=55mg/L(4時間換算：27.5mg/L) 区分に該当しない ロジン：分類できない 酸化亜鉛：ラットLC50(4時間)>5.7mg/L 区分に該当しない
皮膚腐食性/刺激性	トルエン：ウサギ 中程度の刺激性 区分2 キシレン：ウサギ 軽度から強度の刺激性 区分2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	トルエン：ウサギ 軽度の刺激性 区分2B キシレン：ウサギ 軽度から中等度の影響 区分2 エチルベンゼン：ウサギ 軽度の刺激性 区分2B
呼吸器感作性	ロジン：日本産業衛生学会：気道第1群区分1A
皮膚感作性	ロジン：日本産業衛生学会：気道第1群区分1A
生殖細胞変異原性	区分に該当しない。または、分類できない
発がん性	エチルベンゼン：区分2
生殖毒性	トルエン：授乳に対するまたは授乳を介した影響 区分1A キシレン：区分1B エチルベンゼン：区分1B ロジン：区分2 酸化亜鉛：区分2
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	トルエン：区分1(中枢神経系) 区分3(気道刺激性、麻酔作用) キシレン：区分1(中枢神経系、呼吸器、肝臓、腎臓) 区分3(麻酔作用) エチルベンゼン：区分3(気道刺激性、麻酔作用) ロジン：区分3(気道刺激性) 酸化亜鉛：区分1(呼吸器、全身毒性)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)	トルエン：区分1(中枢神経系、腎臓) キシレン：区分1(神経系、呼吸器) エチルベンゼン：区分1(聴覚器、神経系)
誤えん有害性	トルエン：区分1 キシレン：区分1 エチルベンゼン：区分1

12 環境影響情報

水性環境有害性短期(急性)	トルエン：甲殻類(Ceriodaphniadubia)48時間EC50=3.78mg/L 区分2 キシレン：魚類(ニジマス)96時間LC50=3.3mg/L 区分2 エチルベンゼン：甲殻類(バイシュリンブ)96時間LC50=0.42mg/L 区分1 ロジン：甲殻類(オオミジンコ)48時間EC50=4.5mg/L 区分2 酸化亜鉛：甲殻類(オオミジンコ)48時間LC50=0.098 mg/L 区分1
水性環境有害性長期(慢性)	トルエン：甲殻類(Ceriodaphnia dubia)7日間NOEC=0.74mg/L区分3 キシレン：甲殻類(グラスシュリンブ)96時間LC50=7.4mg/L区分2 エチルベンゼン：甲殻類(ネコゼミジンコ)7日間NOEC=0.956mg/L 区分2 ロジン：急性毒性－区分2、急速分解性－ない 酸化亜鉛：藻類 72時間NOEC=24 μg Zn/L(29.9 μg ZnO/L) 区分1
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし

13 廃棄上の注意

残余廃棄物	関連法規ならびに地方自治体の基準に従い廃棄する。 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物業者に委託して処理する。
汚染容器及び包装	空容器を廃棄する時は、内容物を完全に除去した後、リサイクル又は処分する。

14 輸送上の注意

国際規則	国連番号：UN 1263 国連輸送名：塗料 国連分類：クラス3(引火性液体類) 容器等級：II 海洋汚染物質：非該当
国内規則	<陸上輸送>消防法、毒物および劇物取締法、高圧ガス保安法に従う。 <海上輸送>船舶安全法、港則法に従う。 <航空輸送>航空法に従う。
追加の規則	
・危険物	引火性の物
特別安全対策	「7. 取扱い及び保管上の注意」の項の記載に従う。容器漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、破損の無い様に、積み込み、荷崩れ防止を行う。

15 適用法令

労働安全衛生法	有機溶剤中毒予防規則－第2種有機溶剤 表示対象物質－トルエン、キシレン、エチルベンゼン、鉱油。 SDS交付義務対象物質－トルエン、キシレン、エチルベンゼン、鉱油、ロジン、酸化亜鉛。 皮膚等障害化学物質等(不浸透性の保護具等の使用義務物質) 皮膚吸収性有害物質－トルエン、キシレン
化管法(PRTR法)	第1種指定化学物質－トルエン: 管理番号300
消防法	危険物第四類第一石油類非水溶性危険等級Ⅱ
船舶安全法	引火性液体類
悪臭防止法	トルエン、キシレン
毒物および劇物取締法	該当せず

16 その他の情報

引用文献	日本塗料工業会編集「GHS対応MSDS・ラベル作成ガイドブック」 NITE化学物質総合情報システム 原材料SDS
その他	<p>1. このデータシートは、製品に関する情報提供を目的とした物であって、その記載内容に関し、弊社が売主その他の立場で保証責任を負うものではありません。</p> <p>2. このデータシートは、作成日又は改訂日までに弊社が入手した情報に基づいて作成しておりますが、記載内容は新しい知見又は法規制の変更等により改訂される事があります。</p> <p>3. このデータシートは通常想定される保管方法及び取扱いの方法の範囲における情報提供です。したがって、特殊な保管又は取扱いを行う場合は、その保管又は取扱いに適した安全対策を実施の上ご利用下さい。</p> <p>4. 本製品の貴社の用途に対する法規制、適合性及び安全性については、弊社では確認しておりませんので、調査又は試験により確認の上ご利用下さい。</p> <p>5. 貴社において本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法等輸出関連法規を遵守の上、輸出して下さい。</p>